

時期：令和2年 2月実施

対象：5区役所単位で昼・夜それぞれ開催し、資料を説明。

※そのほか、中心商店街の会議に出向き説明を実施

内容：庁舎整備を検討するに至った経緯、市議会での議論、本庁舎整備に関する基本構想の方向性について説明し、ご意見をいただいた。

1. 説明会の開催実績

区役所単位での説明会

5箇所 で昼・夜それぞれ実施 市民参加者数合計 240名

そのほか、中心商店街で行われる会議
2箇所 で実施 参加者数合計 42名
(今後1箇所 で実施予定)

合計

7箇所 で計12回実施 市民参加者数合計 282名

2. 説明会で寄せられた主な意見

【庁舎の耐震性について】

- ・本庁舎は熊本地震にも耐えたのだから耐震性能はあるはず。
- ・今後実施予定の耐震性の調査・検証を具体的どのように行うのか知りたい。
- ・参考人以外の有識者から意見を聞いてほしい。
- ・現行の建築基準法上の耐震性能を満たしていないと言っているが、防災拠点としての耐震性能を満たしていないだけであって、一般建築物としては満たしているのではないか。
- ・防災拠点の確保が必要で、今建替えることは理解できた。

【候補地について】

- ・白川公園敷地に庁舎を建て替ると国道3号の交通渋滞がひどくなると思う。
- ・建て替える際は、敷地内に活用ができる広い広場を設けてほしい。
- ・新庁舎も県都にふさわしい威厳のある建物を望む
- ・本庁舎は市の中心部になくてもいいと思う。
- ・候補地がハザードマップ上、すべて浸水する区域になっている。
候補地としては、浸水しない箇所がいいのでは。
- ・候補地として、以下の場所も検討してほしい。
(競輪場敷地、西区と南区の間、旧市立体育館跡地の公園や熊本市立図書館市立体育館、市民病院跡地、辛島公園・旧産文会館跡地、市民会館等)

【財政について】

- ・建替える場合、市の財政は大丈夫か。
- ・設備のみ改修と移転建替えの比較は期限の切り方により、費用の大小関係は変わるのでは。
- ・熊本地震の被災者もいる中で、予算は庁舎建替えでなく被災者支援などに投入すべき。
- ・国保料は政令市で一番高い。市民生活に直結したところに税金を使ってほしい。

【今後の進め方・考え方について】

- ・建替えについての議論は、耐震性の調査・検証が終わってからでいいと思う。
- ・建替えありきで進めるのは納得いかない。
- ・建替えて万全の体制がとれる拠点をつくってもらいたい。
- ・全国のモデルとなるような庁舎の考え方を示してほしい。
- ・正確性とスピーディー性をもってやってもらいたい。
- ・今建替えなくても、30数年後には建替えないといけない。市民サービス、働き方、熊本市のビジョン等を踏まえて検討した方がいい。
- ・本庁舎と区役所を分けた方が、分かりやすく、人の流れもスムーズになると思う。